

myらいふ

Since 1985. 4. 25

myらいふは、
市民編集員が
取材・編集する
生涯学習情報です

今号の記事



まなばニヤ

- ① たのしい押し花(かぬまマイ・カレッジ)
5/24(水)13:00~15:00 市民情報センター
- ② プランツギャザリングの手法(花木センター)
6/21(水)10:00~12:00 花木センターさつき育成温室
- ③ 鹿沼木工団地青空市(鹿沼木工団地協同組合)
6/3(土)9:30~16:00 鹿沼木工団地多目的広場
- ④ やさしい和菓子づくり(かぬまマイ・カレッジ)
7/1(土)9:30~12:30 市民情報センター
- ⑤ らくらく俳句講座(かぬまマイ・カレッジ)
6/14(水)13:30~15:30 市民情報センター

①

花と会話を してみませんか?

野や庭に咲く可憐な草花や花屋の店先を彩る花々を押し花にして作品を創ってみませんか。かぬまマイ・カレッジ講座「たのしい押し花」が月に一回開催されています。講師は土井節子先生。年齢を感じさせない背筋の伸びたチャーミングな先生です。



教室に入ると受講生が手掛けた作品の数々が並べられていました。飛騨高山の合掌造りの風景や藤の花が咲き誇る藤棚は、押し花を使うことによって本物に近い存在感が出て、作品の中に自分が入り込んでしまったかのような錯覚を覚えました。

私も「押し花はがき」作りを体験させていただきました。生花の時と同じような美しい鮮やかな色をした押し花を、ピンセットでつかんで夢中になって花の配置を考えている時間は、心が洗われるようでした。

「花と会話すればいいのよ。『私はここにいたい』と花が教えてくれるから」とおっしゃる土井先生。気さくで親しみやすい先生は受講生から大人気。16年間通い続けているという方は「創作に没頭していると無心になれて自分だけの世界に浸れる」と話してくださいました。皆さんも花と会話をしながら押し花アートを楽しんでみませんか。



②

癒しのひとときを自分にプレゼント

梅雨の晴れ間、心地よい風が吹き抜ける、花木センターさつき育成温室の中で、初夏の草花をたくさん使った「プランツギャザリング」の手法による寄せ植え講座が行われました。プランツギャザリングは根付きの花や植物を花束のように組み合わせて作る寄せ植えの技法のことです。

受講生は4名、講師は小太刀昌子先生。先生は「自分の好きなものを集めて自由に植えて楽しんでもらえるような技法を伝えている」とおっしゃっていましたが、その言葉どおり、個性あふれる素敵な作品ができました。

「家に持ち帰り、庭の一番目立つところに置きたい」「初めてだったが楽しかった」と嬉しそうに笑顔で話す受講生たち。自分の作品を大切にかかえ帰る姿が印象的でした。この講座は年に4回開催され、次回は観葉植物、その次には、秋の寄せ植えを行う予定だそうです。ぜひ参加して植物に癒されてみては？



👉 当日の流れ

1. 花や植物の根鉢をはさみで切り、根っこを崩し落としていく。株分けできそうなものは、分け、根を整える。

※根鉢＝植物を鉢から抜いたとき株についている根と土の集まった部分



2. 花やグリーンなど3種類を花束のようにまとめ、組み合わせが決まったら、根元を水苔につけてひもアート水苔を4回ぐら

2

3. 鉢にココチップ（ヤシのチップ）を入れ、ユニット4個の配置を考えながら花の葉を整え植えこむ。花や葉をゆるめながら広げ、形を整える。植え際に水苔をはり、水をかける。

③

一日中楽しめる
青空市

6月3・4日の2日間にわたり「第46回鹿沼木工団地青空市」が、木工団地多目的広場で開催されました。主催は鹿沼木工団地協同組合で創立60周年を迎えたそうです。

昭和37年から開催されたこの青空市は、当初は木工中心の物販でしたが、今では木工の他に手作り雑貨やキッチンカー、ワークショップが出店するようになりました。「訪れた方々が十分に楽しめるよう日頃の感謝を込めての青空市です」と実行委員代表の晃南印刷（株）の阿部博さんは言います。主催者の思いが通じたのでしょうか。会場は開始とともに大勢の人でにぎわっていました。

ステージでは、木工団地ならではの丸太切り大会が行われました。太い丸太を、ちびっこ達がのこぎりで切落し、一等賞を目指していました。



また、栄匠の木工教室では、親子で楽しめる体験教室が賑わっていました。取材した時は、本立てのワークショップでした。本立ては、すでにキットになっていて金づちで打って組み立てていきます。木の種類はひのきで、殺菌や虫よけ、リラックス効果があるそうです。



挑戦した小学生の男の子は「角度を合わせるのが難しかった」と言っていました。「何年も前から来ていますが、体験したのは初めてでした」とお父さん。多くの家族の方達は、この体験教室をとおして会話が弾み楽しそうでした。

訪れた人たちはそれぞれ自分の時間を楽しんでいるようでした。

みんなあつまれ!!

④

かんたん、
ヘルシー、
おいしい、
わがし

和菓子作りは難しい！と思う方は多いのではないでしょう
うか。もし簡単に素早くおいしく作ることが出来たら、挑戦して
みたくないですか。

かめまマイ・カレッジ講座「やさしい和菓子づくり」は、そんな挑
戦したくなるような講座。5回コースの2回目で受講生は3名。

始まる前に先生から。手際よくするために「準備8割」。そして
「計るは大事」と正しい計量が大切だと教えていただきました。



Point!

この日のメニュー /
みずようかん

- ① 材料はしっかり混ぜる
- ② アクをしっかり取る
- ③ 市販のあんこは甘いので塩を入れる
(味がしまる)
- ④ 熱をとりながらあんこ
と寒天が分離しないよ
うに混ぜ、とろみが
でたら素早く流し箱に
入れ、冷やして出来上がり



Try!

レンジで和菓子！ /
うぐいすきなこづくりを体験！

特別にうぐいすきなこづくりを体験させていただきました
ました。レンジでとっても簡単に
作ることができてびっくり。

- ① 材料を温め、かき混ぜる
- ② 生地を伸ばして切り分ける
- ③ あんこをくるんで、あおえんどうきなこをかける
たった三つの工程だけで完成できました。
材料やレシピは、講座を受けるまでお楽しみです…！



作
ろ
う

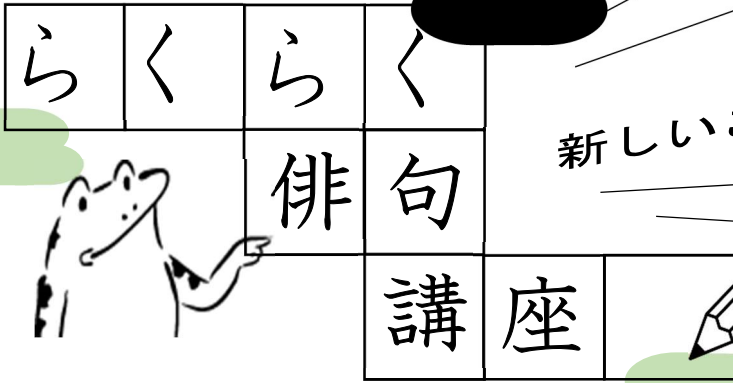
わ
が
し

みんなで試食をし「おいし〜い」と笑顔でペロリ。受講生は「簡単そうだったので
参加してみた」とのこと。前回習った和菓子を家で作ってみたら上手くできなかつ
たそう。「何回もチャレンジして上手くできるようになりたい」と楽しそうでした。

講師の秋澤佳津子先生は、講師歴50年の大ベテラン。先生のご指導は、作って
いるときは大胆だけどわかりやすく、周りへの目配り・気遣いが印象に残りました。

はじめにレシピを見るだけよりもわかりやすく、ずっと簡単にできます。体験をす
るとまた作ってみたくなる講座をぜひ体験してみてください。

⑤

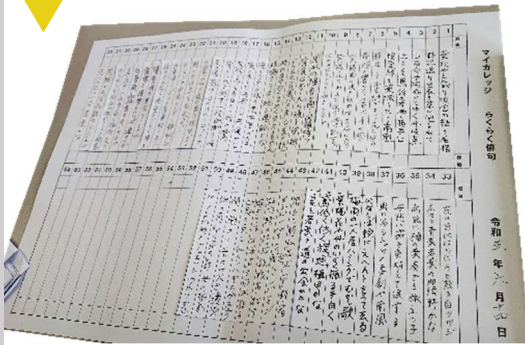


初心者大歓迎！
新しいこと、始めてみませんか？

句会の流れ

- ① 出句：俳句を提出すること
- ↓
- ② 清記：用紙に書き写すこと
- ↓
- ③ 選句：俳句を選ぶこと
- ↓
- ④ 披講：選んだ句の読み上げ
- ↓
- ⑤ 合評：意見交換

ズラーっと50句!!



6月15日(水)、かぬまマイ・カレッジ講座「わくわく俳句講座」の

2回目が開催されました。講師は中村國司先生。この日の受講生は初心者から経験者までの9名でした。この講座では、それぞれ持ち寄った俳句を評価、批評し合う「句会」を通して俳句の腕を磨きます。

講座のはじめに一人5句ずつ俳句を提出し、清記用紙に書き写します。そして持ち寄った計50句の中から自分が良いと思った句を10句選びます。選句の時間は静かな時間が流れ、皆さん俳句と真剣に向き合っている様子でした。中村先生は「皆さんお上手」と受講生の作った句のレベルの高さを絶賛。

選句のあとは、句会の醍醐味ともいえる「披講」と「合評」を行います。「披講」で選んだ句を発表し、「合評」で良かったところなど意見交換をします。「情景がありありと浮かんできた」「語呂が頭に残った」など活発に意見が飛び交い、皆さんイキイキした様子がとても印象に残りました。時折笑いが生まれる場面もあり、終始和やかな雰囲気でした。

先生は「俳句を通して日常の感動を言葉にして伝えることの喜びを知ってもらいたい」とおっしゃっていました。受講者に話を聞くと「俳句を始めてから小さな幸せに気づくようになりました。始めて大正解です」とご好評でした。「俳句」って難しくてかきこまったイメージ…という方！実はもっと気楽な気持ちでできますよ。何か新しいことを始めたいなど思っている方、是非「句会」デビューしてみませんか？

編集後記

毎回取材をさせていただくと、受講生や参加者の皆さんの生き活きとした姿にパワーをいただきます。少しずつコロナ禍前の日常に戻りつつあります。一人一人が気をつけながら、毎日を過ごして行きましょう。

西村 和子